

専任教員の公募について

大学 本務教育職員	
掲載年月日	2026 年 7 月 10 日
職 種	大学教員
専門分野	韓国社会文化論、韓国・朝鮮地域研究、比較文化研究、東アジア地域研究、東アジア文化研究、多文化社会研究、またはこれらに関連する分野。
担当予定科目	学部担当予定科目：「韓国の社会と文化」「比較文化論」等の専門科目、およびゼミ科目。 大学院担当予定科目：国際協力研究科における地域研究、比較文化研究、東アジア研究、多文化社会等に関連する科目、および大学院の論文指導。 なお、担当科目は年度により変更となる場合がある。また、上記のほか、学部・研究科が必要と認める関連科目を担当する場合がある。
職 名	教授または准教授
所 属	人間社会学部国際学科
募集人員	1 名
採用年月日	2027 年 4 月 1 日
応募資格	(1) 博士の学位またはそれと同等の研究業績を有する者 (2) 担当予定分野における十分な研究業績を有する者 (3) 年齢・国籍不問（なお、本学の定年は 68 歳） (4) 日本語が母語でない場合は、授業および校務を日本語で行えること。 (5) 日本の大学での教歴があること。 (6) キリスト者、あるいはキリスト教を理解し学院の敬神奉仕の精神に賛同する者
勤務地	大 学：神奈川県横浜市緑区三保町 32 大学院：東京都港区六本木 5 丁目 14 番 40 号
勤務条件・待遇	（職務経歴等を考慮し、学院規定により決定します。） 諸手当：通勤手当、住宅手当、期末手当等あり。 休日：土曜日※、日曜日、祝日、年末年始、休業日 ※大学院科目担当の場合、勤務日とする 年次有給休暇：初年度 10 日 その他：受動喫煙防止措置・敷地内禁煙
社会保険	日本私立学校振興・共済事業団制度、雇用保険及び労災保険に加入します。
福利厚生	学院校外施設（追分寮、野尻キャンパス）及び日本私立学校振興・共済事業団の契約施設が利用できます。
選考方法	・ 人間社会学部教授会において選考し、学長が決する。 ・ 書類審査の後、採用候補者には面接を行う。 なお、選考の過程で模擬授業の実施を課す。
提出書類	(1) 履歴書 1 通（別紙様式※） (2) 教育研究業績書 1 通（別紙様式※ 概要欄に論文・著書等の概要を 200 字以内で記入し、共著の場合は共著者名、執筆範囲を明記すること） (3) 主要な著書・論文 3 点の現物又は写し (4) 「韓国の社会と文化」（半期 15 回分）のシラバス (5) 大学教育および学生指導への抱負 A4・1 枚程度 (6) 選考にあたり健康診断書の提出を求めることがある ※応募書類様式は、リンク先および科学技術振興機構（JREC-IN）のホームページからダウンロードできます。
書類提出先	Web 応募希望者：Jrec-in portal の Web 応募を利用のこと 郵送応募希望者：〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 32 東洋英和女学院大学 人間社会学部長 渡部麻美 宛 ※上記のどちらかをお選びください。

2026 年 7 月 10 日

専任教員の公募について

応募締切日	2026 年 9 月 18 日（金） ※郵送の場合は必着
選考結果の通知	学内選考手続きが終了次第（2026 年 11 月下旬から 12 月中旬を予定）、応募者に直接通知する。
備 考	(1) Jrec-in portal から応募する場合は、上記（1）－（5）の順にそろえ、一つのファイル（20MB 以内）にまとめること。ファイル名は GK-ローマ字氏名とすること。例：GK-ToyoEiko (2) Web 応募者で書籍等の提出を希望する者は、氏名・住所を明記した文書を添え、応募封筒に「韓国社会・文化担当教員応募追加資料」と朱書きし、以下の方法で上記宛先に送ること。 (3) 郵送の場合は、応募封筒に「韓国社会・文化担当教員応募」と朱書きし、書留・レターパックプラス・EMS など 配達が確実に確認できる方法で郵送すること。 (4) 応募の資料（書類、業績の現物又は写し）は、本人からの請求がある場合のみ返却する。 <u>返却を請求する場合は、切手を貼付した返信用封筒もしくはレターパックプラスに宛先を記載したものを同封すること。</u> (5) 交通費等の経費は自己負担とする。 (6) 応募された方の個人情報、選考の目的以外には使用せず、第三者への情報提供は行いません。 なお、選考から漏れた方の書類は、選考終了後、責任を持って廃棄処分します。
問合わせ先	東洋英和女学院大学 総務課庶務 E-mail : shomu@toyoeiwa.ac.jp